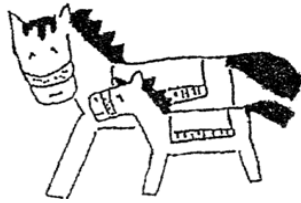


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

25年 5月 NO. 222



(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		5月の主な活動		～お気軽にどうぞ～	
5月 8日	水	園にて花まつり 10:00～11:00	おしゃかさまのお誕生をお祝いする 行事にどうぞおいで下さい。		
5月 10日	金	おはなしの会 10:00～11:30	「成長」をテーマにたけのこやおむしや骨の 話など、大型絵本やパネルシアターで楽しめます。		
5月 11日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょに遊びましょう。		
5月 18日	土	笑いヨーガ 14:00～16:00	ニューヨークでも大人気のラフターヨガの講師は阿守さん さんです。奇数月にありますのでどなたでもどうぞ。		
5月 23日	木	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	池田歯科院長、池田弘氏の「口腔から介護を 考える」をお聞きして、フリートークします。		
5月 25日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て体験 できますのでおいで下さい。		
5月 28日	火	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科）にゆっくり 相談できます。（予約要）		

- ・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)
- ・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

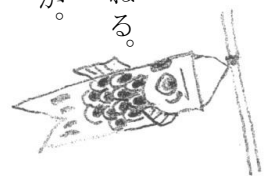
育児相談（月～土）9：00～18：00
しつけや子育てについての悩み
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



みすゞコスモス
わが内なる宇宙より

空の鯉
お池の鯉よ、なぜ跳ねる。
あの青空を泳いでる、
大きな鯉になりたいか。
大きな鯉は、今日ばかり、
明日はおろして、しまわれる。
跳ねて、あがって、ふりかえれ。
はかない事をのぞむより、
おまえの池の水底に、
あれはお空のうろこ雲。
おまえも雲の上をゆく、
空の鯉だよ、知らないか。



お手玉教室で、お手玉名人になろう！

当園では、6月22日（土）から5回シリーズで、8/10・10/26・12/7・2/8（土）14～16時 月1回、お手玉教室を開きます。昔懐かしい方、お手玉未経験の方、いっしょにお手玉の楽しさを見直して、子どもたちにも伝えていきましょう。

< 内 容 >

- ・お手玉の作製
- ・2～3個のお手玉で投げだま遊び
- ・みんなで輪になり、お手玉まわし遊び
- ・お手玉を使ってリズム遊び
- ・5個のお手玉で寄せだま遊び

お手玉のはなし

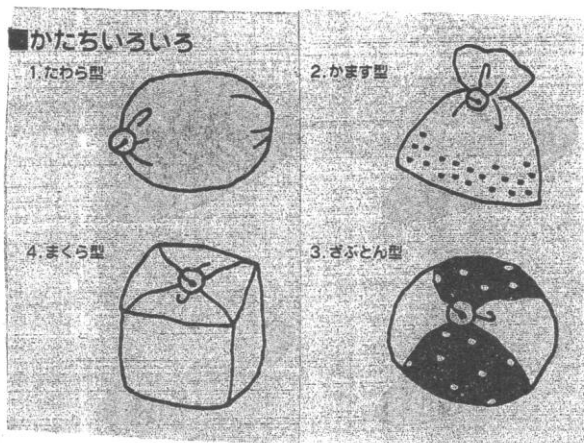
～ はじめに ～

お手玉は、およそ3000年前に、すでに黒海周辺の遊牧民の子どもたちによって遊ばれていたといわれます。その後、身近な遊び文化として、お手玉は世界中に広まってきました。日本にも、奈良・平安時代に伝わってきて、江戸、明治、大正時代を通してさかんに遊ばれてきた伝統文化の一つです。

- ・子どもにとっては新しい遊び、お年寄りにとっては昔懐かしい遊びとして、世代を超えて交流を図ることができます。
- ・脳の活性化を図り、健康の維持増進につながります。
- ・子どもの健全育成に役立ちます。（ゲーム脳の防止と改善）
- ・運動機能の回復に役立ちます。
- ・手から心へぬくもりを伝えます。



～ 日本のお手玉のかたち ～



～ 遊び方 ～

1. なげ玉式（振り技）
2～3個のお手玉を上に向けて、片手または両手で操る。歌に合わせて何回も続ける。上手な人になると、5個のお手玉をリズムカルに操る。
2. よせ玉式（拾い技）
5～7個のお手玉を使い、そのうちの1つを親玉と決め、親玉を上に向けている間に床にあるお手玉をいろいろと操る遊び。技巧的で複雑。

～ お手玉の歴史 ～

世界最古のお手玉あそびは、羊の距骨（かかとの骨）のお手玉を使った「拾い技」だったようです。紀元前1000年ころ、黒海周辺のトラキアで、遊牧民たちの遊具として使われていたとも言われています。大英博物館に展示されている羊の距骨は、古代ギリシャで「アストラガリ」というお手玉に似たゲームに使われていたらしく、羊の距骨5個を空中に投げあげて手の甲で受け止め、下に落ちた骨は、手の甲に乗っている骨を落とさないようにして拾う、というゲームでした。このお手玉あそびを英語で「ナックルボーンズ」と呼ばれています。この遊びは、やがてシルクロードを通して、インドや中国にも伝えられ、羊の骨のかわりに小石を使うことになり、拾い技の「石なご」といわれる遊びのはじまりでした。

同じような遊びは、東ではポリネシア、日本、韓国、中国。西は、ヨーロッパ、イギリス、アメリカ、南米。南は、アフリカ、オーストラリア。北は、アラスカ、シベリアへと広がり、世界中で遊ばれるようになりました。



～ 日本のお手玉の歴史 ～

◎「石なご」から布のお手玉に

日本に伝えられたのは奈良時代で、中国からは様々な技術・文化が入ってきました。その中の一つに「石なご」のお手玉あそびがありました。法隆寺の宝物の中に「石名取玉（いしなとりだま）」というものがあり、水晶の玉が16個入っています。聖徳太子がお手玉あそびに使ったものではないかと言われています。江戸時代後半になると布のお手玉が登場し、遊び方も「拾い技」から体をリズムカルに動かす「振り技」が多くなりました。

最初の布のお手玉は、かます型で俵型や枕型が作られるようになり、中身は、ひえや粟の実、浜辺の小石や貝殻、小豆などを入れ始めました。明治時代にざぶとん型があらわれ、大正時代には、小豆といっしょに鈴を入れたり、足袋のこはぜを入れたりするようになりました。

現在、日本で「石なご」の遊びが残っているのは、兵庫県の大屋町（おおやちょう）だけとなりました。（大屋町では、「石なんご」と言う。）おもしろいことに、ここで使われている小石と、羊の距骨とを比べてみると、ほとんど同じ大きさです。偶然の一致とはいえ、お手玉の歴史の深さ、子どもの遊び文化としての世界共通性を感じずにはられません。

◎ひろがるお手玉あそびの輪

「日本のお手玉の会」が平成4年（1992年）9月19日に愛媛県新居浜市に設立されました。お手玉普及活動として、小・中学校や老人クラブでお手玉づくりやあそびを紹介していきました。

平成4年（1992年）9月20日、「第1回全国お手玉あそび大会」が開催され、その席で「日本お手玉の会」が設立されました。この大会をきっかけに新居浜市では、小中学校だけではなく、高等学校のクラブ活動にまで取り入れられています。

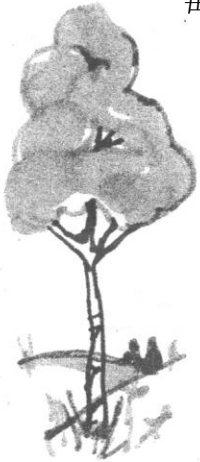
毎年「全国お手玉あそび大会」も参加者が増え、出場選手700人、見学者7000人にも達しました。さらにお手玉を架け橋として、アメリカ（ハワイ）、韓国、中国など、多くの国々と国際交流をはかっています。

～高松おじゃみの会の紹介～

平成15年1月20日 会員19名で発足しました。平成20年7月「日本のお手玉の会」の支部に加入。全国のお手玉仲間とも学び、交流しながら楽しく活動しています。

毎月 第4日曜日 花園コミュニティーセンターにて 10時～12時

連絡先 磯崎 洋子 電話・FAX 087-834-9895



子育て環境 悲しい不平等

1月の本紙「人生案内」は、30代女性からの相談だった。正社員として働いていたが、夫婦双方の実家が遠く、仕事と育児の両立が困難になって退職したという。「親の手助けのもとで楽に子育てをする元同僚への嫉妬心が消えない」。そんな女性の言葉に私の体験を重ねた。

私も8年前に育児休業から復職した時は、1歳2か月の息子と二人暮らしだった。夫とは仕事の都合で同居できず、双方の親も遠方に住んでいた。月2回ほど週末に夫が来るほかは、一人で育児と仕事をする生活が約3年続いた。

保育園に通い始めた子どもはいろいろな病気にかかる。職場に気兼ねしながらの早退や病院通いはストレスになった。高熱で泣く息子を病児保育に預けて出勤した時のことは忘れられない。最高にみじめだったのは、ロタウィルスに感染し、腹痛に苦しんで寝ていた数日間だった。

当時は、息子に手を上げるようになったら会社を辞めよう決めていた。私も状況次第では、相談を寄せた女性と同じような心境になっていたかもしれない。

なんとか続けられたのは、幸運だったからだと思う。母子ともに大きな病気をせずすんだ。病児保育が充実した市に住んでいた。何より周囲の励ましに支えられた。「何かあったらいつでも連絡して」と声をかけてくれる人たちが職場にいた。同じ遠距離結婚の仲間やシングルマザーの存在も大きかった。

昔と違って、いまは夫婦共働きでなければ立ちゆかない家庭も増えている。近くに頼れる手のない人たちが仕事と育児を両立できる環境を整えることは、社会全体の課題だ。

だが実際には、居住する自治体や勤務する会社の制度、職場の雰囲気などに左右されることも多いのだろう。条件に恵まれなかった人が「恵まれた人」をうらやんで暮らす世の中は、やっぱり悲しい。

(玉城 夏子 読売新聞より)